

2017年4月 24 日

お客様各位

ENEOSグローブエナジー株式会社

LPガスメーター検針用携帯端末の紛失について

この度、弊社神戸支店において、神戸市のLPガスお客様宅のガスメーター検針作業中に、弊社が委託する検針員がLPガスメーター検針用携帯端末機(以下「ハンディターミナル」といいます。)1台を紛失する事故が発生しました。ハンディターミナルには、弊社神戸支店のLPガスのお客様のうち233件の個人情報が入力されています。

このような事故が発生し、お客様にご迷惑とご心配をおかけすることとなり、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。二次被害の発生防止に備え、速やかに該当のお客様に連絡を取らせて頂きお詫び申し上げるとともに、再発防止の社内徹底を図ってまいります。

なお、ハンディターミナルを操作する際には、暗証番号を入力する必要があり、3回誤った番号を入力すると電源が切れる仕組みになっております。また、ハンディターミナルに格納されているメモリーカードは暗号化対応が施されており、通常のソフトではデータダウンロードが行えない仕組みとなっております。

現時点で紛失したお客様情報が流出し利用された事実は確認されておりません。

記

1. 流出したお客様情報および件数

紛失したハンディターミナルには、お客様 233 件の個人情報が入力されており、その内容は、お客様番号、氏名、住所、電話番号、ガスメーター検針値、ガス料金で、お客様の料金支払口座情報は含まれておりません。

2. 紛失事故の経緯

ガスメーターの検針作業中に、委託検針員がハンディターミナルを身体から外し、業務用車両のボンネットに置き、そのまま走行を開始し、次の作業地域まで走行した間に車両から落ちたものと思われま

3. お客様への対応

当該ハンディターミナルに個人情報が入力されていたお客様には、個別にご連絡し、お詫び申し上げますとともに、今回の事案に関連して不審な事象が発生した場合、ご連絡を頂くようお願いすることとしております。

4. 再発防止策

弊社は、お客様情報の漏えい防止のための様々な安全管理措置を講じて参りましたが、今回このような事故が発生させましたことを厳粛に受け止め、ハンディターミナルの携行方法を見直すとともに、情報セキュリティに対する社員教育を強化し、信頼の回復に全力を尽くして参ります。

5. 本件に関するお問い合わせ

お客様対応窓口 03(3597)5430 ENEOSグローブエナジー株式会社 総務・法務グループ

以上